

加西市は、平成 29 年 4 月に市制施行 50 周年を迎えます。50 周年は、加西市が未来に向けて力強い歩みを進める大きな節目です。4 月以降、50 周年を記念してさまざまなイベントが開催されます。友人やご家族などとぜひご参加ください。



## 4 月 8 日「ハッピーバルーンフェスティバル」



昨年 3 月に開催された熱気球全日本選手権

気球の飛ぶまち加西として、かさい熱気球サポータークラブや播磨風船飛行隊の協力により、気球の搭乗体験やバルーングロー（夜間係留）などの気球イベントを開催します。気球はとてもデリケートなため、雨天の場合は中止となり、雨が降らなくても風が強ければ中止または内容を変更する場合があります。

■開催日／4 月 8 日（土） ■場所／鶉野飛行場跡特設会場

### ■時間・内容

- 6:30 ～ 7:00 （離陸時間）さくらフライト（気球約 10 機が離陸）  
※風向きにより離陸場所が変更になる場合があります。
- 7:00 ～ 10:00 気球搭乗体験（2 機、要予約）
- 16:00 ～ 18:00 音楽ステージ（市吹奏楽団、北条高校吹奏楽部など）
- 18:00 ～ バルーングロー（闇の中、ガスバーナーの炎が気球約 10 機を明るく灯し出します）

### ●気球搭乗体験の参加者募集

■日時／4 月 8 日（土）7:00 ～ 10:00 ※当日の天候により中止。風が強い場合は「気球教室」に変更。

■場所／鶉野飛行場跡 ■定員／300 人※多数の場合は抽選 ■参加費／大人 1,000 円 小人 500 円（小学生以下）

■申込方法／往復はがきで申し込んでください（1 通 4 人まで）。複数枚の申し込みはできません（2 枚目以降無効）。

往復はがきの往信面に①～③までの必要事項を、返信面に代表者の住所と氏名を記入してください。

①参加者全員の氏名（ふりがな）・学年（年齢） ②郵便番号・住所 ③電話番号

※ご家族の場合はお子さまとの関係、一般の方は年齢、小学生は新学年を記入してください。

※代表者の氏名を最上部に記入してください。

※5 人以上で申し込みの場合は、もう 1 枚記入して申し込んでください。

■募集期間／3 月 1 日（水）～ 14（火）※当日消印有効。結果は、3 月 21 日（火）以降に返信はがきでお知らせします。

■申込・問合せ／〒 675-2395 加西市北条町横尾 1000

文化・観光・スポーツ課「気球搭乗体験」係宛 ☎ 42-8773



## 4 月 29 日「兵庫芸術文化センター管弦楽団ストリングス 加西公演」

兵庫芸術文化センター管弦楽団による 50 周年を祝う演奏会が開催されます。リニューアルしたホールに響きわたる美しい音色をお楽しみください。

■日時／4 月 29 日（土・祝）15:00 ～ 開場 14:30

■場所／加西市民会館文化ホール ■座席数／798 席 ※車椅子席 4 席

■特別ゲスト／ジェニファー・ギルバート（ヴァイオリン）

■プログラム（予定曲目）／フランク：ヴァイオリン・ソナタ イ長調、ドビュッシー：レントよりおそく、ラヴェル：ハバネラ形式の小品、チャイコフスキー：「フィレンツェの思い出」（弦楽合奏版）

■入場料（全席指定）／大人 2,000 円 高校生以下 1,000 円

※当日券 500 円増。小学生未満は入場できません。

■販売場所／市民会館、善防・南部・北部公民館、地域交流センター、イオン加西北条店、西村書店、毛利書店、北条楽器、チケットぴあ、ローソンチケット

■チケットの問合せ／市民会館 ☎ 43-0160

■事業内容の問合せ／秘書課 ☎ 42-8701



兵庫芸術文化センター管弦楽団ストリングス

### ジェニファー・ギルバート

カーティス音楽院、ジュリアード音楽院で研鑽をつみ、現在、フランス国立リヨン管弦楽団のコンサートマスターも務める。  
使用楽器：1781 年製ガダニーニ



## 5月4日「第2回 加西能」

加西市播磨国風土記1300年祭(平成27年5月)で、『播磨国風土記』の根日女伝説を題材にした新作能『針間(はりま)』(哲学者の梅原猛さん創作)、新作狂言『根日女(ねひめ)』(狂言師の野村萬斎さん監修)が披露されました。

市制50周年に合わせ、1300年祭で誕生した新作能『針間』をもう一度再現します。また、野村萬斎さんと子ども狂言塾の塾生による新作狂言『根日女』なども上演します。



新作狂言『根日女』には、子ども狂言塾の塾生も共演します

■日時／5月4日(木・祝) 17:00～19:30

■場所／加西市民会館文化ホール

### ■スケジュール

16:15 開場  
 17:00～17:40 I部 新作狂言『根日女(ねひめ)』  
 18:00～18:15 II部 舞囃子『高砂(たかさご)』  
 18:15～19:30 新作能『針間(はりま)』

### チケットの販売(全席指定)

■販売席数／798席 ■販売日／3月1日(水)～

### ■座席料金

前売券／一般3,000円 高校生以下500円

※当日券は一般のみ500円増。前売券が売り切れの場合、当日券の販売はありません。

※4歳未満無料(席なし)。席に座る場合はチケットが必要。

■販売場所／市民会館、善防・南部・北部公民館、地域交流センター、イオン加西北条店、西村書店、毛利書店、北条楽器、チケットぴあ、ローソンチケット

■チケットの問合せ先／市民会館 ☎ 43-0160

■加西能の問合せ先／文化・観光・スポーツ課 ☎ 42-8756



### ●加西能に向け公開お稽古(子ども狂言塾の塾生募集中)

毎年5月に舞台上で新作狂言『根日女(ねひめ)』を演じる子ども狂言塾の第4期生を、3月31日(金)まで募集しています。下記のとおり公開お稽古を実施しますので、子ども狂言塾の参加を検討されている方は、ぜひお越しください。

■日時／3月27日(月) 18:00～21:00 ※要予約

■場所／サカイダンスアカデミー(北条町横尾)

■申込先／文化・観光・スポーツ課 ☎ 42-8756

### 新作狂言『根日女(ねひめ)』

演者／野村萬斎、加西市子ども狂言塾 ほか

あらすじ／播磨国の賀毛(かも)の里の国造(くにのみやつこ)許麻(こま)には、美しく不思議な力を持つ娘・根日女がいた。噂を聞いた皇子・意奚(おけ)と袁奚(をけ)は、志深(しじみ)の里から根日女に会いに来る。敵の間者ではないかと疑る許麻に囚われるが、根日女は2人を助け、2人は根日女に求婚する。しかし、互いに譲り合ううちに、2人は都に戻る。2人は再び会いに来るが、根日女は病を得て帰らぬ人となっていた。根日女の亡骸を納めた墓は玉丘古墳と呼ばれ、その愛を今に伝える。



野村萬斎



昨年の「第1回加西新能」で狂言を演じる狂言塾の塾生

### 新作能『針間(はりま)』

演者／大槻文蔵(人間国宝)、観世鏡之丞、藤田六郎兵衛 ほか

あらすじ／2人の皇子・意奚(おけ)と袁奚(をけ)の父が、皇位継承争いから近江国で殺された。2人の皇子は、志深(しじみ)村に隠れ、村首の家で牛飼いの下男として仕えることになった。数年後、祝いの宴で歌を所望された弟の袁奚は、歌い舞いながら、ついにその歌詞で自らの正体を明かす。国司の小楯(おだて)はこれを都に報告。2人の皇子は、都に迎えられ天皇となった。



大槻文蔵



平成27年5月「風土記1300年祭」での新作能『針間』

### 舞囃子『高砂(たかさご)』

演者／観世鏡之丞、藤田六郎兵衛 ほか

みどころ／市制50周年を祝い、結婚披露宴など祝いの場で多く演じられる人の世を言祝(ことほ)ぐ大変めでたい能を特別に演じていただきます。



観世鏡之丞